



おくやま けんぞう 奥山 謙三 議員

子育て世帯へのさらなる支援を 卒業祝金は前向きに検討



子育て支援センターで楽しく遊ぶ子供たち

【質問】 舟形町の現状は2022年出生数20人、婚姻7組となっており、少子化が急激に進んでいる現状にあります。当町では生み育てやすい施策を先んじて行ってきましたが、それでも現状は解決の方向には向かっていません。さらに生み育てやすい支援の充実を進める

べきと考えます。
具体的な施策の提案として、①学校給食費の無償化、②小学校・中学校・高校卒業祝金の支給、これらを行う事により、親の負担軽減に繋がります。生み育てやすい環境が進むものと思います。町長の考えをお聞きます。

【町長】 舟形町に住み、子どもを生んでいただく為には、生み育てやすい環境の整備は大変重要だと考えています。国を中心に社会全体で考える大きな課題であります。現在町では、25以上の子育て応援サポートプログラムを展開し、切れ目ない支援により、生み育てやすい環境を整備してまいります。今後、国や県の動向を踏まえながら、支援の充実を進めていきたいと思います。学校給食費の無償化は、現在のところ考えておりません。

【質問】 町を再発見するためにも、隊員の採用は必要だと思います。今回提案したいのは、移住定住を促進するための隊員の採用を行うべきと思うが、町長の考えをお聞きます。

地域おこし協力隊員の採用計画は
継続して行っていく



4月から地域おこし協力隊に着任した、仙台市出身の佐藤浩二さんです

【町長】 隊員の募集については、継続して行っていきます。今回提案があった移住定住を促進する協力隊の採用については重要なことと考えており、今後検討していきます。このたび新たに観光分野に1名の合格者があり、現在承認を待っている状態です。正式な採用が決定したらお知らせします。



命の誕生に健やかな成長を願って

【質問】 最上郡内の町村で出産祝い金を支給しているのは、最上町は第1子、第2子が10万円、第3子以降20万円を現金と商品券の組み合わせで支給。金山町は第1子10万円、第2子20万円、第3子30万円。鮭川村は第1子10万円、第2子20万円、第3子30万円の現金で支給。舟形

【町長】 出産祝い金の金額については、これまで町が行ってきた類似の交付金として、平成3年度に「舟形町ハビネス養育金」があります。これは、児童のすやかな成長をはかる目的で、第3子の出生に対して30万円、その後1人増すごとに10万

円を加算した額を支給するというもので、その後改正し、平成15年度から「舟形町こども養育支援金」とし、1子につき10万円の支給となりました。現在は「舟形町すくすく赤ちゃん祝い金」として、出産への祝意を表すために、1子につき10万円を交付しています。

今回提案頂いた祝い金の増額については、第7次舟形町総合発展計画の重点プロジェクトとして位置付けている「少子化対策・子ども育成プロジェクト」による、福祉分野、保健医療、産業労働、青少年健全育成、教育などの各課による取組を考慮するとともに、近隣市町村の状況、そして今、国会で議論されている

「異次元の少子化対策」により、今後示される「経済的支援の強化」や「子育て家庭を対象としたサービス拡充」等の具体的内容を踏まえながら、総合的に検討してまいります。

山形県・最上地域の出生数の推移（平成24年～令和3年）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
山形県	8,212	8,159	7,966	7,831	7,547	7,259	6,973	6,401	6,217	5,922
最上地域	519	579	546	484	477	434	422	363	353	294
新庄市	266	297	292	263	252	216	241	189	193	176
金山町	38	48	35	33	39	34	24	26	24	21
最上町	59	61	61	44	37	54	41	45	35	21
舟形町	36	35	30	29	29	23	18	15	31	17
真室川町	44	66	38	46	54	39	37	30	27	26
大蔵村	29	20	33	17	22	22	18	13	11	12
鮭川村	24	29	26	33	19	20	22	19	18	11
戸沢村	23	23	31	19	25	26	21	26	14	10

参考資料：厚生労働省「人口動態統計」



いとう きんいち 伊藤 欽一 議員

すくすく赤ちゃん祝い金増額を 支給を総合的に検討する